

Café International Junior

【カフェ・インターナショナル・ジュニア】

By deRudi Hoffmann / Roland Siegers

プレイ人数：2人～5人 対象年齢：6才以上 プレイ時間：30分

抄訳：海長とオビ湾

コンポーネント

お客さんカード 100枚



中国 ドイツ フランス グリーンランド イギリス インド



イタリア ジャマイカ ケニア メキシコ スペイン アメリカ



ジョーカー テーブルタイル 24枚 トークン 1pt/60枚 5pt/30枚 10pt/15枚

ゲームの概要

子供達専用の“カフェ・インターナショナル”へようこそ！

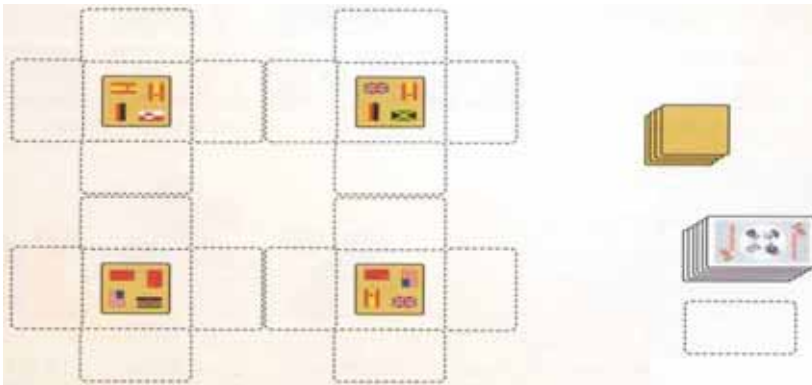
ここではアメリカ、イタリア、ジャマイカをはじめ、いろいろな国の子供達が集まってレモネードを楽しむのです。

果たして皆さんは上手に子供達を席に案内できるでしょうか？

お客さんにぴったりの席に案内することによって、得点を獲得することができます。

ゲームの最後に、最も得点の多かった人が勝ちです。

ゲームの準備



テーブルタイルをよく混ぜ、その中から **8 枚** を誰も見ずに取り除いて箱の中に戻します。
残り 12 枚のテーブルタイルは裏返しの伏せた山として端に置きます。

その後、テーブルタイルの山から **4 枚** をめくり、表の状態にしてプレイエリアの中央に並べます。(配置は上の図を参考にしてください。テーブルの周りにはこれからお客さんが集まることとなりますので、十分なスペースを確保して下さい。)

お客さんカードもよく混ぜてください。

その後、**スタートプレイヤーになる人に 8 枚**、その他の人には **6 枚** ずつカードを配ります。
残ったカードは伏せた山として端に置きます。

トークンは色ごとに別けて整理しておきます。

ゲームの進め方

まず、スタートプレイヤーを適当に決めてください。その後、ゲームは時計回りに進めていきます。

プレイヤーは、手番になったら以下のうちからひとつを選んで行います。

1 枚以上のお客さんカードをテーブルの周りの好きな場所を選んで置く。

1 枚以上のお客さんカードを捨て札の山に捨てる。これは自分のお客さんカードをテーブルに置きたくないか、もしくは置けないときに行います。

手持ちのカードと場に出ているジョーカーを好きなだけ交換する。

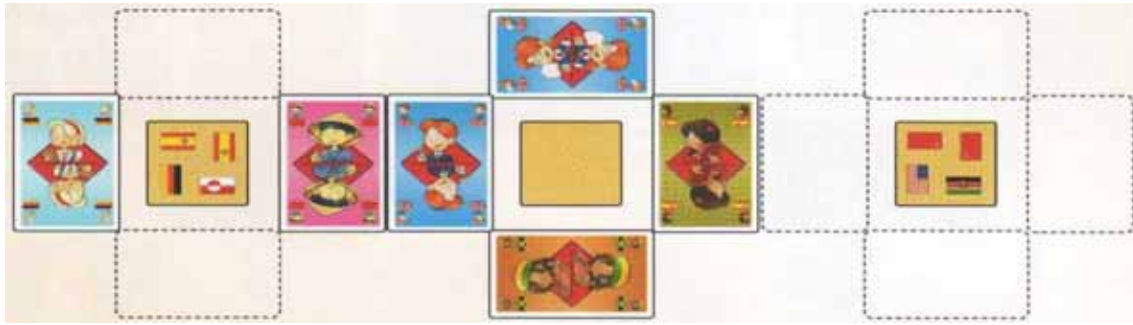
そして手番の最後に、自分の手札が **6 枚** になるまでお客さんカードの山から補充します。
これで手番は終了です。次のプレイヤーの手番が始まります。

テーブルにはお客さんの座る席が 4 つあります。テーブルの周りに 4 枚のお客さんカードが置かれたら、そのテーブルは満席ということになります。満席となったテーブルは即座に裏返してください。(例外：ジョーカーの説明を参照)

もしテーブルに 4 枚目のお客さんカードを置いた場合、そのプレイヤーの手番は即座に終了します。そしてテーブルタイルの山から新しいテーブルを 1 枚引き、プレイエリアのまだテーブルが置かれていない場所に置きます。

新しいテーブルは、今満席になったテーブルにできる限り近い場所に置いてください。この時も、テーブルの周りに 4 枚のお客さんカードが置けるよう、スペースに気を配ってください。

このように、ゲームを続けていく上でテーブルが少しずつ増えていきます。



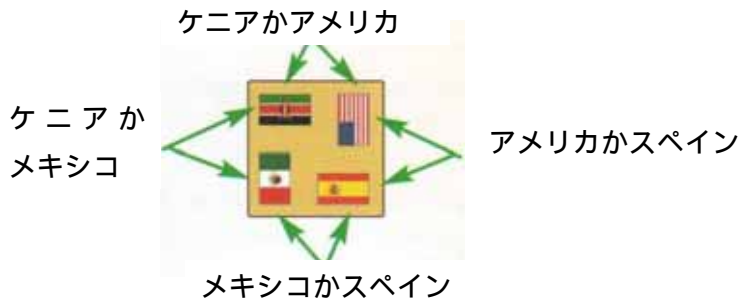
満席になったテーブル

新しいテーブル

テーブルにお客さんカードを置くときのルール

すべてのテーブルには 4 つの国旗が書かれています。これはそこに書かれた国旗のお客さんカードだけがそこに配置できる事を意味しています。

ただし、テーブルに国旗が書かれているお客さんカードでも、国旗の書かれている”辺”にしは置く事ができません。



ジョーカーのお客さんカードはどんなテーブルにも置く事ができます。ひとつのテーブルに 2 枚以上のジョーカーがあっても問題ありません。

一度配置されたお客さんカードはゲームの終わりまでそのままです。ただ例外として、ジョーカーのお客さんカードだけは後々交換される可能性があります。(ジョーカーの説明を参照してください。)

お客さんカードを配置するときには、それが男の子か、女の子を意識しておくのも重要です。なぜならば、テーブルのお客さんカードは男の子 2 人、女の子 2 人という構成でなければならないのです。これはジョーカーのお客さんカードについても当てはまります。

テーブルが満席になるまでは男の子 2 人だけ、または女の子 2 人だけという構成でもかまいません。ただし、満席になるときは必ず男の子 2 人、女の子 2 人という構成でなければなりません。



得点計算

ルールに従ってお客さんカードをテーブルに配置する事で、**1 枚につき 1 ポイント**を獲得する事が出来ます。即ち、黒いトークン 1 枚です。

また、1 回の手番の間に手札の 6 枚全てを、どのテーブルも満席にすることなく置ききる事ができたら、得点は **2 倍**になります。つまり 12 ポイントを受け取る事ができます。

また、テーブルの最後のお客さんカードを置いて、満席にした場合は **10 ポイント**のボーナスを獲得する事ができます。つまり、赤いトークン 1 枚です。

ただし、テーブルを満席にした倍は即座に手番が終了することに注意してください。

例

エミリーはお客さんカードまず 1 枚配置しました。その後、他のテーブルに 1 枚お客さんカードを配置し、そのテーブルを満席にしました。エミリーの手番はこれで終了です。

エミリーはお客さんカードを 2 枚置いたので 2 ポイント、さらにテーブルを満席にしたことによる 10 ポイントのボーナスを受け取り、合計 12 ポイントを獲得しました。

ジョーカーを交換する

お客さんカードの中には男の子と女の子のジョーカーが 2 枚ずつあります。ジョーカーは配置された後に、そこに置くことが可能なお客さんカードと交換される事があります。(つまり、通常のお客さんカードと交換され、その人の手札になることがあります。)

この交換は手番中に何度でも行うことができますが、これによりポイントを獲得する事はありません。

例

ケニアかメキシコが置ける場所にジョーカーの女の子が配置されています。

このジョーカーの女の子は、ケニアの女の子か、メキシコの女の子のお客さんカードと交換する事ができます。

注意

ジョーカーは交換されるだけで、テーブルになんら影響を与えません。

つまり、ジョーカーの交換によりテーブルが満席になったり、裏返ったテーブルを再び表返すことはありません。

ゲームの終了

以下のうちのいずれかの状態になったとき、ゲームは即座に終了します。

テーブルの最後の席が埋められたとき。

プレイヤーがお客さんカードを補充する際に、お客さんカードの山がなくなり、新たなカードを引くことができなかつたとき。

ゲームが終了したら、各プレイヤーは自分のポイントを算出します。

ただし、手札にジョーカーがあるプレイヤーは、ジョーカー 1 枚ごとに 5 ポイントをマイナスしてください。

ポイントの算出が終ったあと、最も多くのポイントを獲得していたプレイヤーが勝利します。

ティータイムと常連客

女の子達は午後のティータイムが大好きです。また男の子は常連客同士で集まるのが大好きです。即ち、『ティータイムと常連客』はこのゲームのヴァリエーションルールです。

このルールでは、テーブルに配置するのが男の子 2 人と女の子 2 人である必要があります。男の子 4 人、女の子 4 人でもかまいません。このとき、男の子 4 人なら『常連客テーブル』、女の子 4 人なら『ティータイムテーブル』として、10 ポイントではなく **20 ポイント**を獲得します。